

広島大学 START プログラム  
: 教養科目「海外フィールドスタディ」

---

広島大学 国際センター 准教授 中矢礼美



## STARTの位置づけ

1. 地球規模の課題の学習＋専門領域の知識・スキル  
(大学の講義)
2. 地球規模の課題を実感できる体験機会を通して  
グローバル・コア・コンピテンシーの向上

STRATプログラム

3. 夢を持たせる多様な進路指導・キャリア教育  
(大学の講義・実習・インターンシップ)

## Study Tour Abroad for Realization and Transformation

- 参加学生：全学部からの学部1年生
- 教養科目「海外フィールドスタディ」 2単位
- 目的

海外経験の少ない学生が

- (1)海外協定大学及びその周辺都市を訪問し
- (2)学生との交流, 現地教員による授業参加, 異文化体験などを通して
- (3)グローバル・コア・コンピテンシーを向上し
- (4)国際交流・海外留学への関心を高め
- (5)在学中に中長期留学や海外研修に積極的に参加し、さらにグローバル・コンピテンシーを向上しつづける動機づけをする。

## 派遣国・地域 及び 大学

セメスター	協定大学	覇権国・地域	参加人数
1 (Spring)	University of Brawijaya	インドネシア	24
	National Chengchi University	台湾	24
	Flinders University	オーストラリア	24
2 (Fall)	University of Social Sciences and Humanities	ベトナム	24
	James Madison University	アメリカ	24
	University of Auckland	ニュージーランド	24

# 「海外フィールドスタディ」概要 –シラバスより–

## ■ 授業の目標・概要等

受講生は、海外の大学における講義，自己学習テーマ探究・成果発表及び海外大学生とのディスカッションを通して、グローバル・コンピテンシーを向上させる。

## ■ 全学習時間数＜90時間＞

- 事前学習の講義とディスカッション(5時間)
- 英語によるテキスト(各担当約20ページ)の読解
- グループ発表の準備(約20時間)
- 留学中の特別講義並びに一般講義の聴講(約20時間)
- 課題調査と最終発表の準備(20時間)
- 文化交流を通じた英会話(10時間以上)
- 帰国後のレポート作成(10時間以上)
- 最終発表の準備(5時間程度)

# 「海外フィールドスタディ」概要 —シラバスより—

## 【事前学習】

講義 第1回 グローバル・コンピテンシーとは

講義 第2回 対象地域の社会文化入門(引率教員より)

演習:グループ学習・発表及び討議

\* 学習テーマ例:「イ国におけるイスラム教の特徴」

「平和構築に私たちはどう貢献できるのか —日本とイ国の協働の視点から」

「イ国における経済発展と日本との関係」

自学自習:事前学習

\* グローバル・コア・コンピテンシー 事前評価と行動計画

評価⇒行動計画⇒実行⇒向上

### 1. グローバル人材モデルの理解

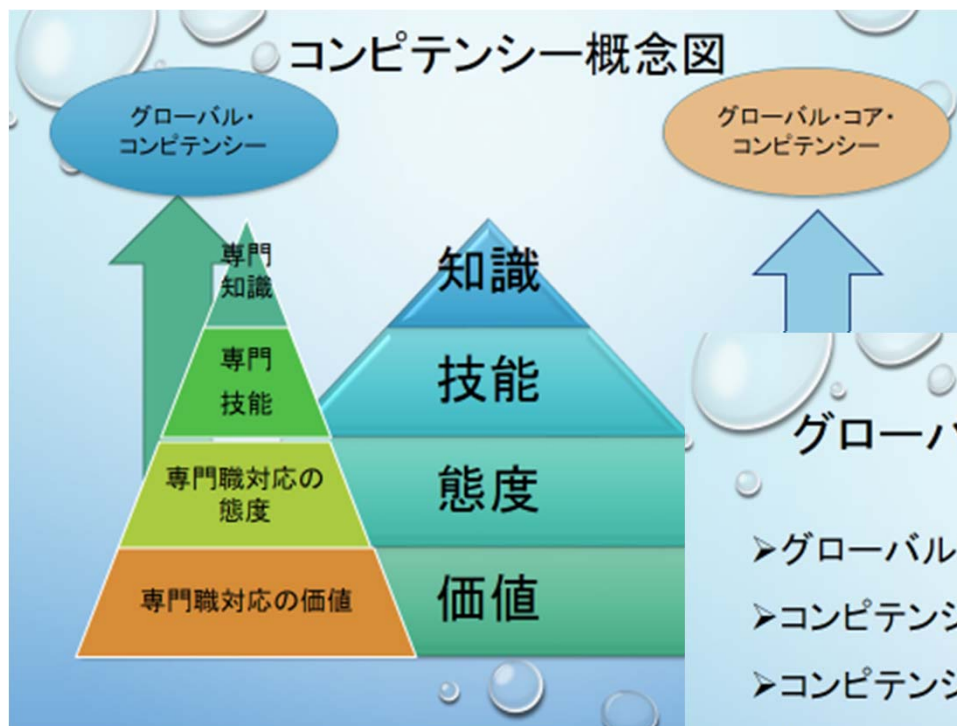
今、グローバル人材が求められています。  
さて、あなたの将来の目標は？

モデルA	グローバルビジネス	・グローバル・ビジネス業界で活躍できる企業人
モデルB	国際協力	・国際協力推進者 国際協力機関・NGOなどで、世界平和に資する活動家
モデルC	グローバル課題解決に対応する国内専門家	・多文化共生社会構築に貢献する国家・地方公務員 ・外国語で診療できる医者 ・多文化共生社会の構築を目指して法的支援を行える司法関係者 ・科学の素養を備えた実践的価値創造型の人材でグローバルな連携の下で人類的課題に取り組む科学者(研究者・高度技術者) ・多文化共生社会の担い手を育てる教育者

- 能力向上ツールとしての  
グローバル・コア・コンピテンシー評価の採用
- 評価は、自己評価、ピア評価および教員による評価
- WHOのGlobal Competency Modelから広大バージョンを作成
- グローバル・コア・コンピテンシー
  1. 国際コミュニケーション
  2. 自己管理能力
  3. 成果を出す
  4. 連携とネットワーク
  5. 個性や文化の尊重



### グローバルコンピテンシーの理解と自己評価



#### グローバルコンピテンシー向上の鍵

- ▶ グローバルコンピテンシーの理解
- ▶ コンピテンシーの自己評価
- ▶ コンピテンシーの向上に向けた具体的計画
- ▶ 振り返りによるコンピテンシー向上・停滞の原因の概念化
- ▶ 知識学習、経験学習、自己の振り返り、他者からのアドバイスと学び合いサイクルの継続

# 「海外フィールドスタディ」概要 —シラバスより—

## 【海外大学におけるフィールドスタディ】

講義(90分×8回)

第3回 イ国の歴史

第4回 イ国の社会と文化

第5回 イ国の経済

第6回 イ国の政治

第7回 イ国と伝統と芸術

第8回 イ国の自然環境問題と対策

第9回 イ国の都市開発問題と対策

第10回 イ国と日本の関係

演習: 語学演習(インドネシアプログラム: 90分×8回)

社会調査・社会貢献活動などを通じた体験学習(寺院、孤児院、  
伝統工芸工場、地場産業果樹園など)

現地大学生とのディスカッション、研究成果発表

自学学習: 個人・グループ研究および発表準備、各講義の予習・復習

グローバル・コンピテンシー中間評価

# 「海外フィールドスタディ」概要 —シラバスより—

## 【事後学習(帰国後)】

グローバル・コンピテンシー事後評価

(行動計画・フィードバック)

演習： 個人学習成果発表及び討議

自学自習：事後学習後にレポート作成・提出

## 【成績評価基準】

- 全プログラム(オリエンテーションから事後報告会まで)への参加
- 授業中のディスカッションへの参加態度
- 現地での研究発表
- 帰国後の研究発表
- 帰国後の最終レポート
- グローバル・コア・コンピテンシーの向上: 個々の学生のグローバル・コア・コンピテンシー(国際コミュニケーション、自己理解・自己管理、成果志向、連携とネットワーク、個性と文化の尊重)の成長率を測るために留学前、留学中、留学後に学生自らが自己評価を下し、教員がフィードバックを与え、成長ぶりを総合的に把握する。

## 参考資料

- 2013年度秋 合同留学体験報告会  
第12回 STARTプログラム インドネシア

### 2013年度秋 合同留学体験報告会 The 12<sup>th</sup> START Program in Indonesia 第12回 STARTプログラム インドネシア



- Mami Aono 青野 真美(教育学部1年)
- Ichirota Yamashita 山下 一朗太(教育学部1年)
- Kyohei Watanabe 渡邊 恭平(総合科学部1年)

## 教職員の役割と今後の課題

### ■ 本プログラムの企画・実施・運営の責任者

国を問わず海外の大学との交渉が可能な語学力及び異文化コミュニケーション能力を有し、国際教育の経験と知識が豊富な教員

### ■ 引率者

英語が堪能で海外経験・留学経験がある者

また異文化理解に意欲的で、学生の教育に熱意を持っている教職員

派遣地域を教育・研究対象とし、プログラム全体を通して専門的知識に基づいた適切な講義・助言ができる教員

### <課題>

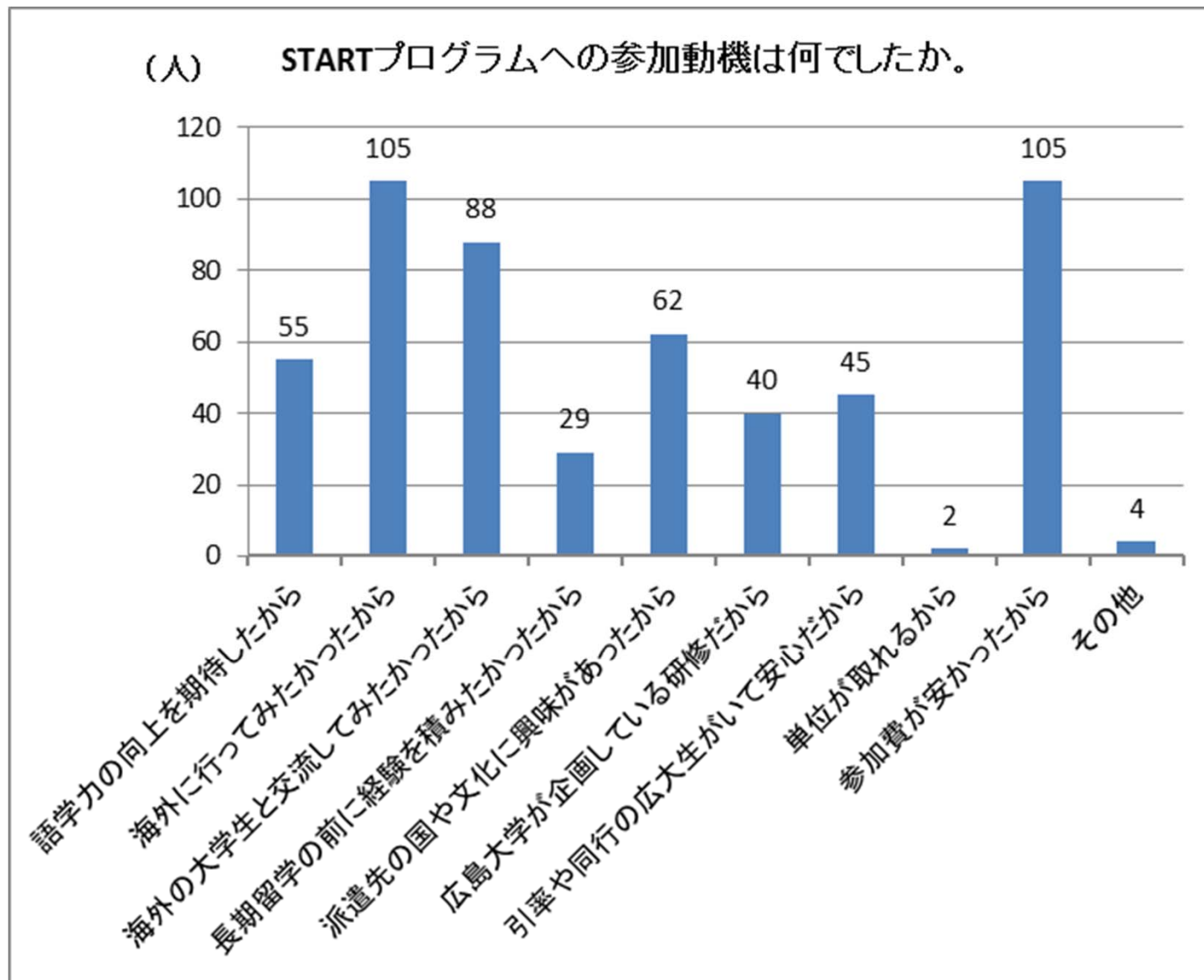
プログラム設計／改善・運営(面接・講義・引率・指導助言・評価)までの教職員の負担が大きい

# STARTプログラム全体応募者数【2010-2013(H22-25)年度】

2010年度(H22)	定員	応募者延べ数	各回倍率
オーストラリア	20	54	2.7
ベトナム	24	41	1.7
<b>2010年度合計</b>	<b>44</b>	<b>95</b>	
2011年度(H23)	定員	応募者延べ数	各回倍率
オーストラリア	24	91	3.8
アメリカ・ベトナム	59	102	1.7
<b>2011年度合計</b>	<b>83</b>	<b>193</b>	
2012年度(H24)	定員	応募者延べ数	各回倍率
インドネシア・台湾	48	80	1.7
オーストラリア・ベトナム・アメリカ	72	210	2.9
<b>2012年度合計</b>	<b>120</b>	<b>290</b>	
2013年度(H25)	定員	応募者延べ数	各回倍率
台湾・インドネシア・オーストラリア	72	133	1.8
ベトナム・アメリカ・ニュージーランド	72	263	3.7
<b>2013年度合計</b>	<b>144</b>	<b>396</b>	

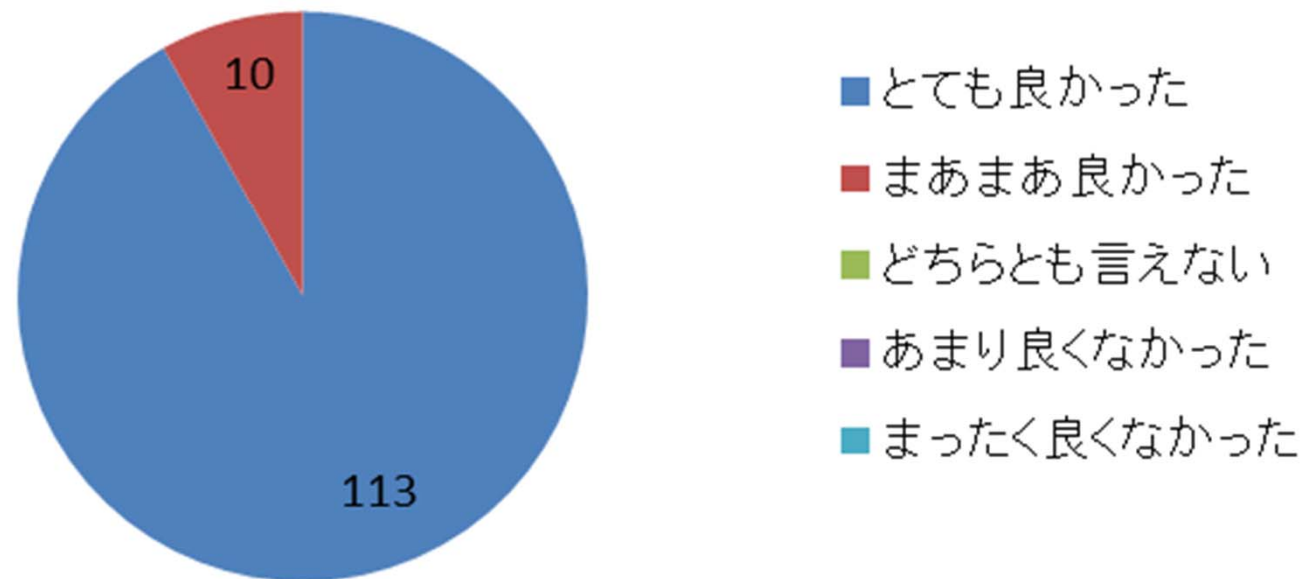
# START の成果と課題：

## 事後評価アンケートより(127/247人)



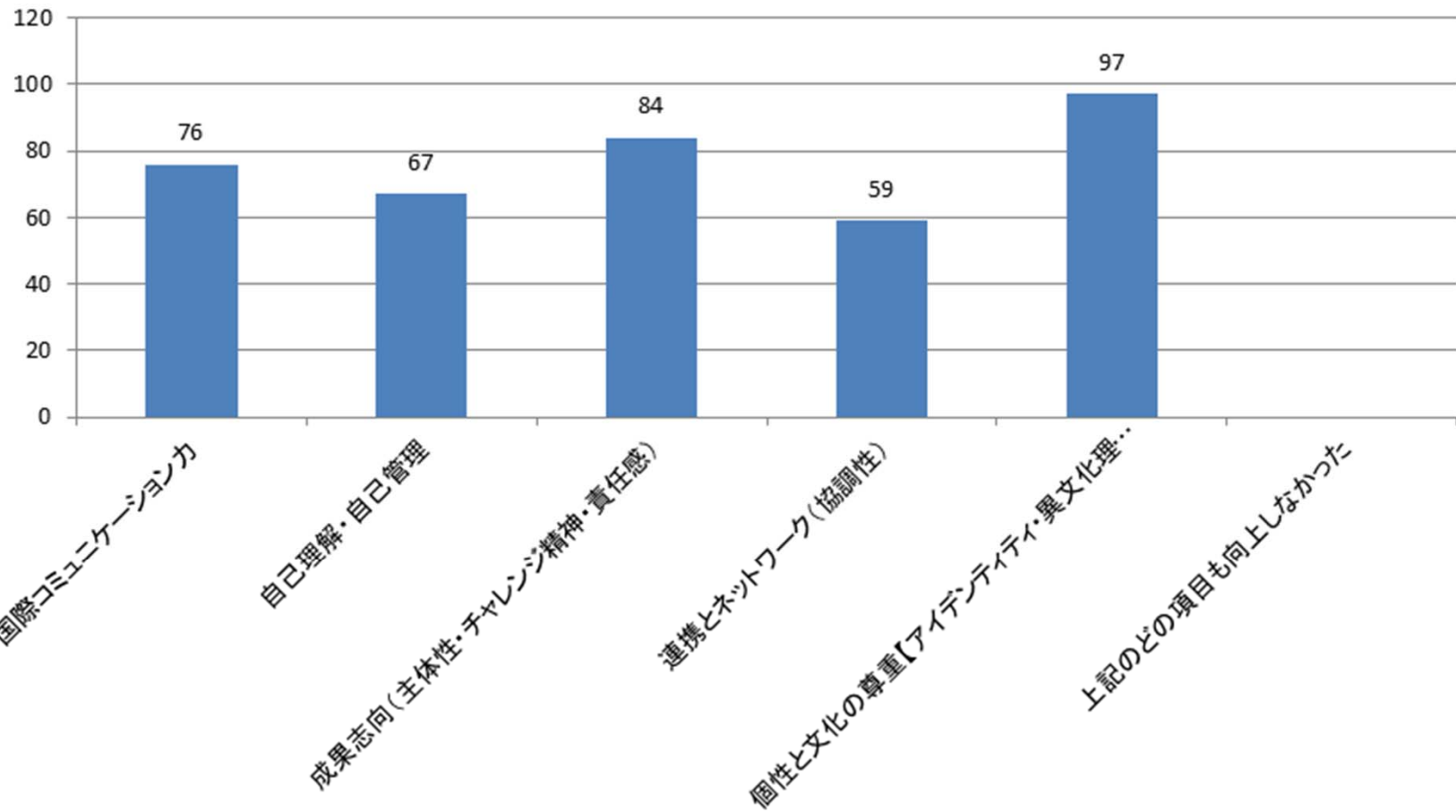


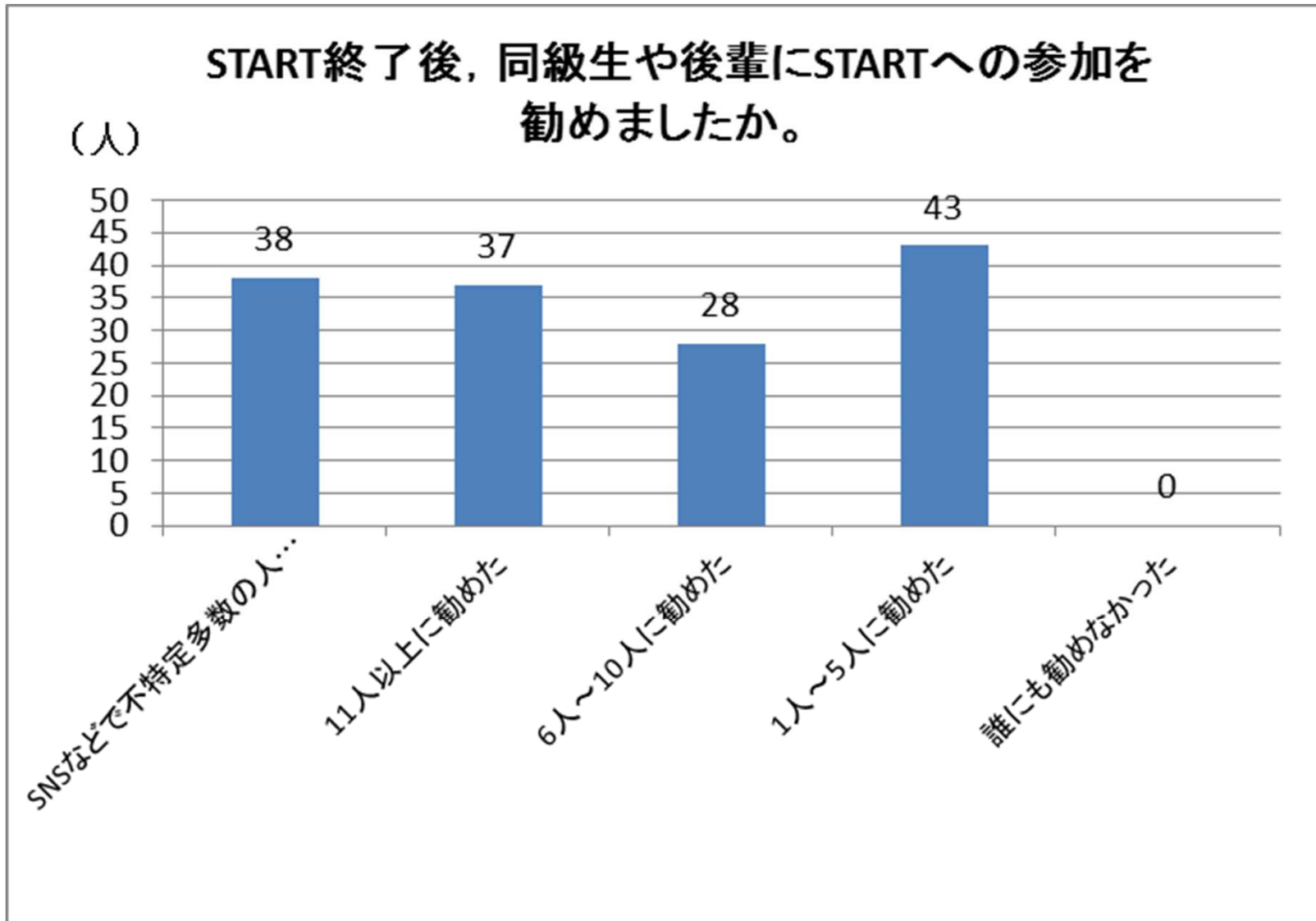
STARTプログラムに参加してよかったですか。  
(人)

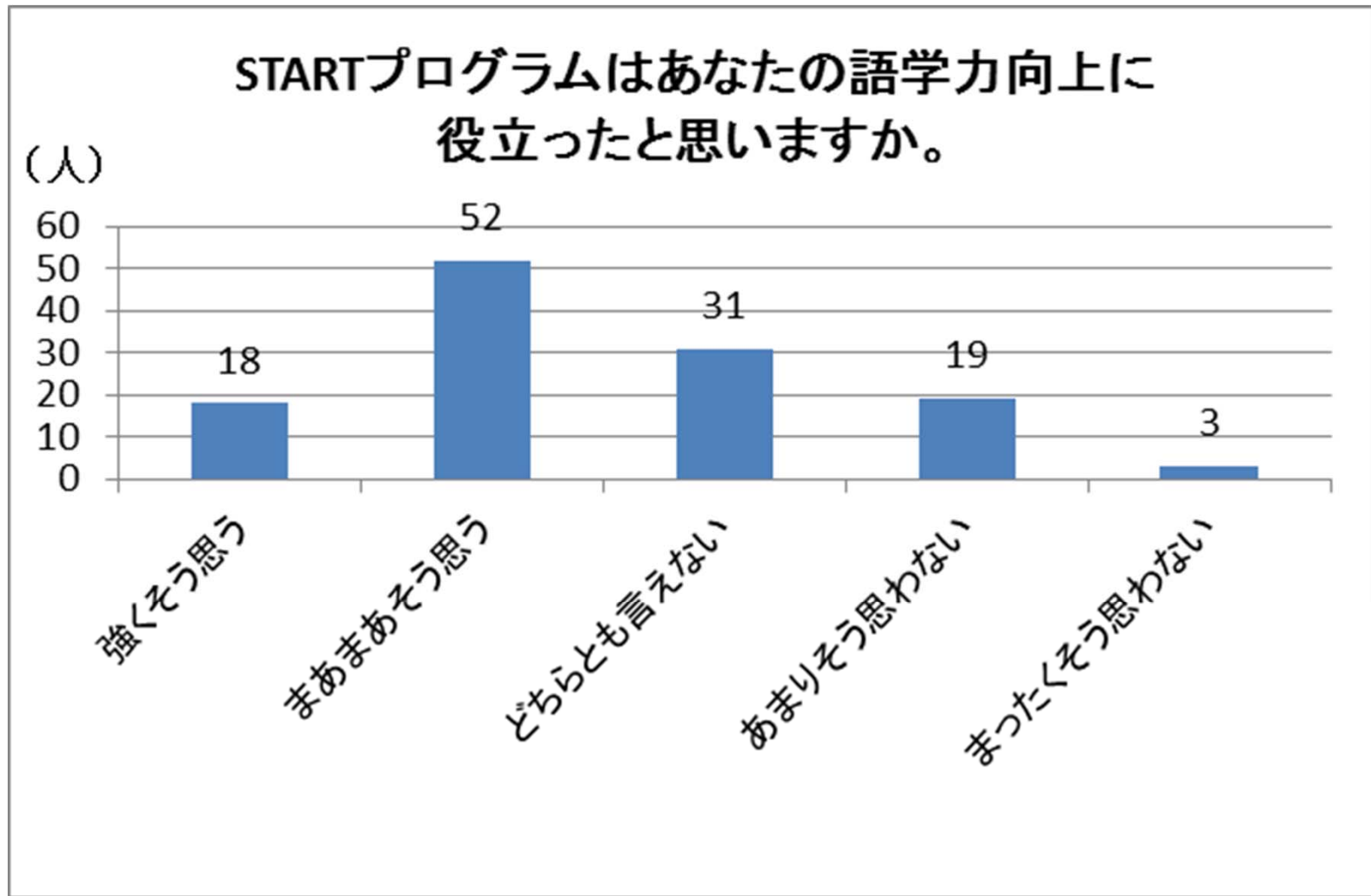


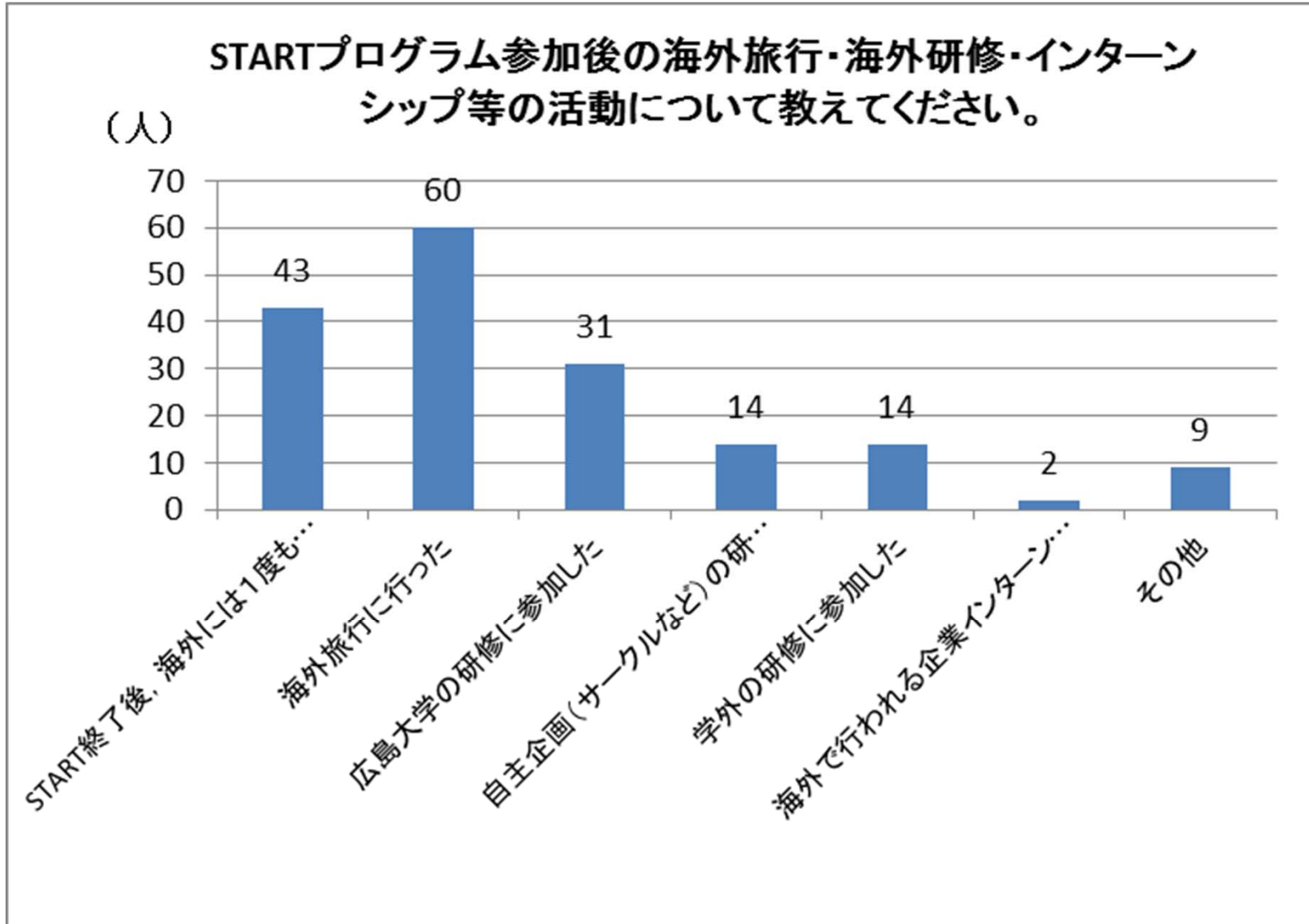
以下の項目について、STARTプログラムに参加したことで、「自分の意識・スキル・知識が高まった」と感じるものをすべて選択してください。

(人)

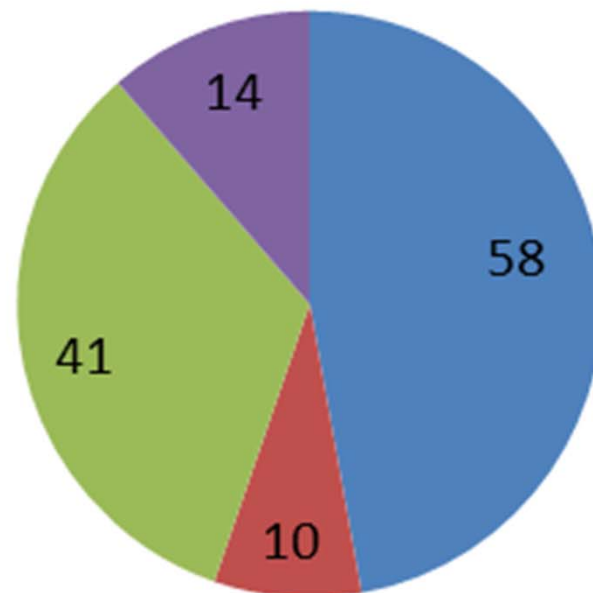






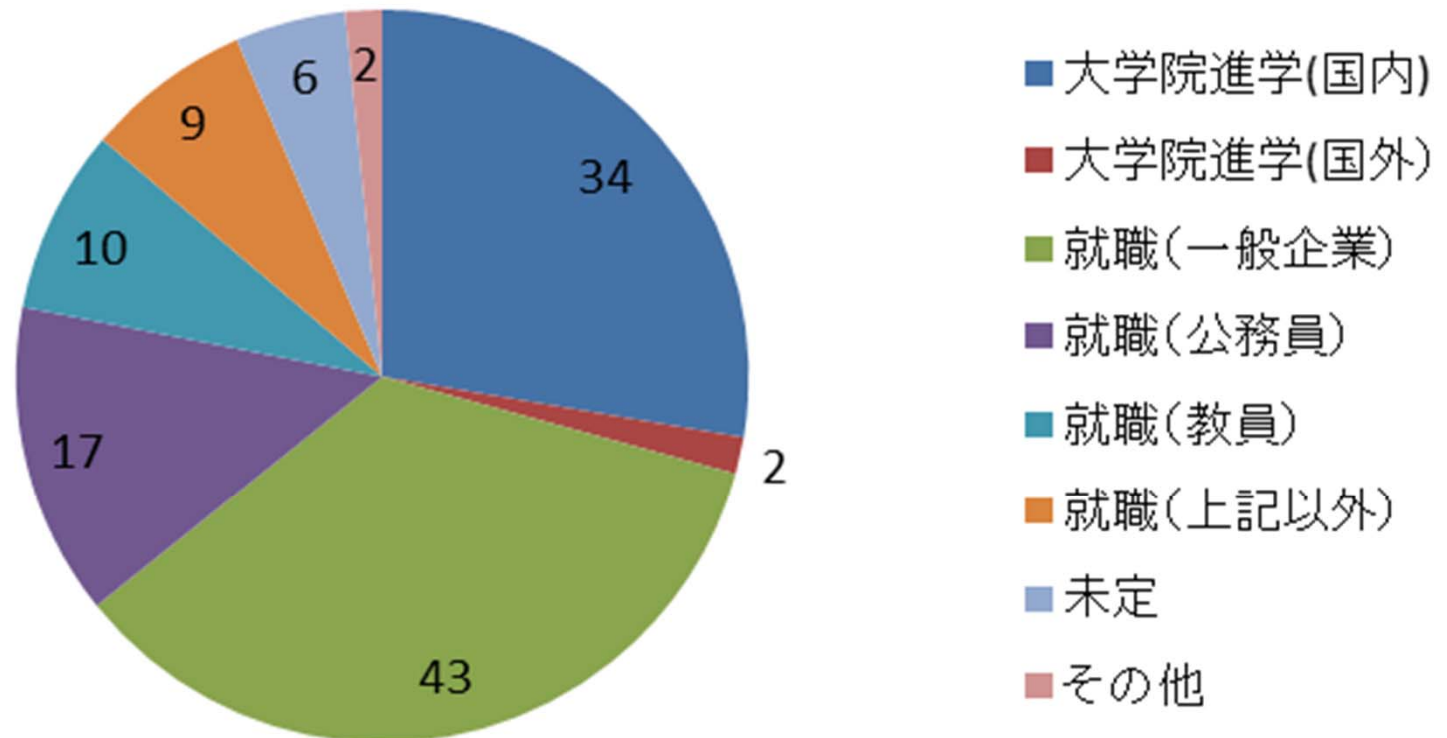


STARTプログラムは、平成24年度より教養教育科目  
「海外フィールドスタディ」として実施していますが、これ  
についてどう思いますか。



- 現在の2単位は妥当だと思う
- 1単位の時が妥当だったと思う
- 単位は必要ないと思う
- その他

## 進路(希望)について教えてください。



ご清聴ありがとうございました